

災害廃棄物の処理への産業廃棄物処理業界の取組について

令和元年8月21日

公益社団法人全国産業資源循環連合会

総務部担当部長 中込 昭

1 「公益社団法人全国産業資源循環連合会」の紹介(別添パンフレット参照)

(1)公益社団法人全国産業資源循環連合会(略称:全産連)は、その正会員は都道府県を単位とする産業廃棄物処理業者等の事業者の団体(47の都道府県協会)であり、産業廃棄物の適正処理の確保や循環型社会形成のための調査研究及び人材育成、産業廃棄物処理業における地球温暖化防止の取組や災害廃棄物処理の支援などの事業を展開しています。

(2)法人の歴史としては、前身である「全国産業廃棄物連合会」が昭和53年に創立され、任意団体としての活動を開始しました。その後、昭和60年に厚生大臣の認可を受けて社団法人になり、平成23年に新・公益法人制度に基づく公益社団法人に移行しました。

さらに、産業廃棄物処理業の役割が廃棄物の適正処理から資源循環の担い手へと変化していく中で、法人の目的と名称を変更し、平成30年4月に「全国産業資源循環連合会」として新たにスタートしたところです。

(3)正会員である都道府県産業資源循環協会に加盟している会員企業の数、全国で15,000社です。(なお、環境省調べによると、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」といいます。)の規定に基づく産業廃棄物処理業の許可を受けている事業者は約11万社、うち、産業廃棄物の処理を主業としている事業者は約12,000社といわれています。)

2 災害廃棄物の処理に係る産業廃棄物処理業界の役割

災害廃棄物の処理において、産業廃棄物処理業界は、被災地の市町村からの委託を受けてその処理を行う民間業者という役割ですが、これまでの災害廃棄物処理の経験を通じて、社会インフラとしての重要性や存在意義を強く再認識しています。

被災地が復旧へと向かっていく段階において、都道府県・市町村と緊密に連携し、災害廃棄物を我々の能力・設備・経験を十分に活かして迅速かつ的確に処理するということは、地元企業であるということを含めて、とても重要な役割を担っていると考えています。そして、災害廃棄物の迅速かつ的確な処理のためには、都道府県・市町村との連携を平常時から緊密にしておくことが重要だと考えています。

3 災害廃棄物の処理に関する全産連のこれまでの取組

(1)全産連は、それまでの都道府県協会等の取組経験を元にして、平成16年9月に『災害廃棄物処理体制構築マニュアル』を作成しました。都道府県協会は、これを参考にして、会員企業が所有する資機材の調査、都道府県等との協定の締結など平常時・災害発生時各々における協力体制の構築を進めてきたところです。

さらに、全産連は、それ以降の都道府県協会の取組経験を元に課題等を整理し、災害発生後の協力・支援についてとりまとめた『産業廃棄物処理業界における災害廃棄物処理支援の手引き -災害発生時の円滑な協力・支援に向けて-』（ウェブサイトで公開しています。）を平成21年2月に作成しました。これを各都道府県協会に示すとともに、都道府県協会間の情報共有に努めてきたところです。

(2)これらの成果もあり、現在、すべての都道府県協会と都道府県との間で災害廃棄物の処理に係る支援協定が締結されています。また、市町村との協定の締結も進められています。

4 最近の自然災害における産業廃棄物処理業界の対応状況

最近の事例として、平成30年北海道胆振東部地震の際の数か月にわたった災害廃棄物の処理について、『災害廃棄物処理現場レポート -平成30年北海道胆振東部地震の現場から-』という冊子を北海道産業資源循環協会青年部会と北海道環境保全協会青年部会が協働で発行していますので、そのコピーを配布させていただきます。

5 新たに「災害廃棄物委員会」を設置しての検討を開始

上記3に書いた先行した取組があるものの、その後、実際に災害が発生した地域の都道府県協会は、市町村の考え方や災害の場所・種類・規模に応じて、初動時から、会員企業とともに試行錯誤をしながら対応してきている実情があります。また、平成27年に廃棄物処理法が一部改正されて災害廃棄物のルール・手続等が改まったこと、全国で地震や水害による被害が広域化・激じん化してきていることも踏まえた上で、都道府県協会の適切な対応能力を継続して維持していく必要があります。

このため、全産連は組織内に新たに「災害廃棄物委員会」を設置して、過去に作成したマニュアルや手引きの必要な見直しの検討、市町村等との平常時からの支援・協力や制度上の課題などについての検討を行なっていくこととしました。この「災害廃棄物委員会」は、来る9月3日に第一回会合を開催し、その後二年間程度をかけて検討を行なっていく予定です。

以上